観察画像ファイル出力機能説明

2026.10.30

１．概要

本機能は、観察画像ファイルをプレート単位でZIPファイルにまとめてダウンロードするものである。本機能はまとめて（バッチで）ダウンロードするためのものであり、個別ウェル単位でのダウンロード（レポート）については、これから開発する別機能で実現予定である。

・出力対象とする観察画像ファイルは、対象プレートを選択した上で、最新の観察日（Latest Days）のみを対象とする方法や、任意の観察日を指定する方法などから選択できる。

・複数のプレートを選択した場合は、プレートごとにZIPファイルが作成される(可能な上限目安は1,000プレート)。

・ZIPファイル内では、画像は観察日 Observation Date（Days）ごとのフォルダーに分類される。例えば、1つのプレートで複数の観察日の画像出力を指定した場合、ZIPファイル内には観察日ごとのフォルダーが作成され、それぞれのフォルダーに該当する画像が格納される。なお、画像ファイル名は観察日が異なっても A1～H12 で共通となる。

・ダウンロード先はユーザー自身のPCとなるので、大量の観察画像ファイルの場合、PCの空き容量の確認が必要である。

２．ダウンロード先の設定

画像出力で生成されたZIPファイルの保存先は、PXS-PReMo ではなく、ユーザーが使用しているブラウザ（Chrome / Edge）のダウンロード設定による。ブラウザには、ダウンロード時に保存場所を確認する設定がある。複数のプレートを連続して画像出力する場合は、「ファイルの保存場所を確認する」をOFFにし、あらかじめ適切なダウンロードフォルダーを設定しておくと、保存場所を指定する操作を省略できる。

多数の画像ファイルをダウンロードする場合、必要な空き容量を事前に確認すること。

「ファイルの保存場所を確認する」がOFFの場合

ZIPファイルは、ブラウザに設定されているデフォルトのダウンロードフォルダーへ自動的に保存される。複数のプレートを連続して画像出力する場合も、プレートごとに保存場所を指定する必要はない。

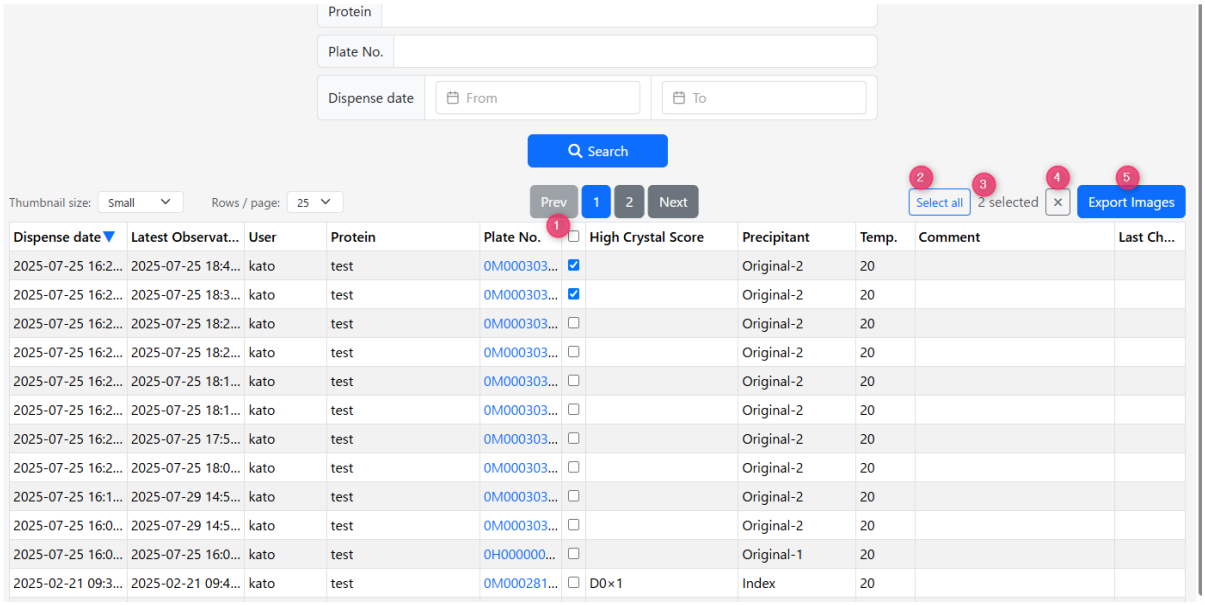
「ファイルの保存場所を確認する」がONの場合

ZIPファイルをダウンロードするたびに、保存場所を指定するダイアログが表示される。複数のプレートを画像出力する場合は、プレートごとに保存場所を指定する操作が必要になる。

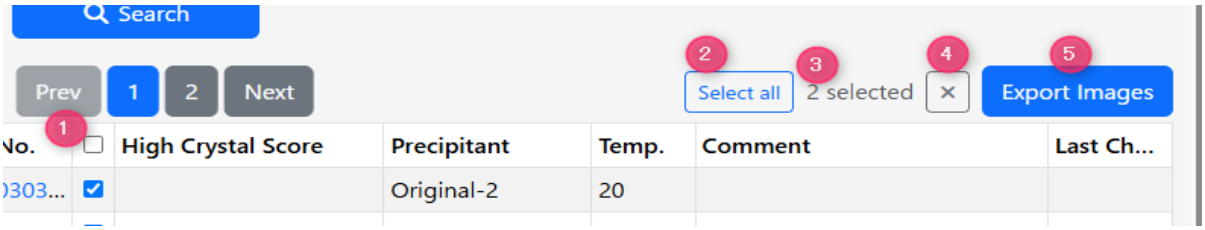
３．実際の操作

３－１．プレートの一覧画面

プレートの一覧画面に ① ～ ⑤ までの新しいボタン等が追加されている。以下、実際の手順を説明する。



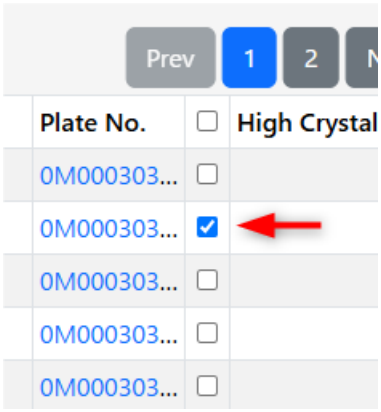
プレート一覧画像



上記拡大

３－２．プレートの個別指定

観察画像ファイル出力をしたいプレートをひとつずつ指定するには ① のチェックボックスの下欄の Plate No. 右のチェックボックスを選択する。任意の複数のチェックボックスを選択することで、それらのプレートを指定することができる。

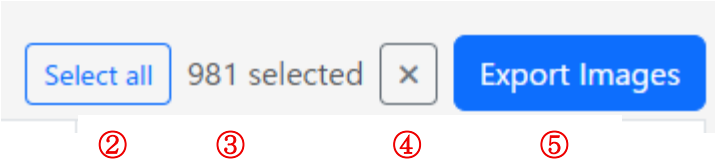


現在表示されている画面の全てのプレートを選択するには、① のチェックボックスをチェックすると、表示されている画面の全てのプレートが選択される。次画面以降のプレートは選択されないので注意。ページング機能により表示画面が切り替わった場合もこれらの選択状態は維持され、追加のプレートを選択可能。



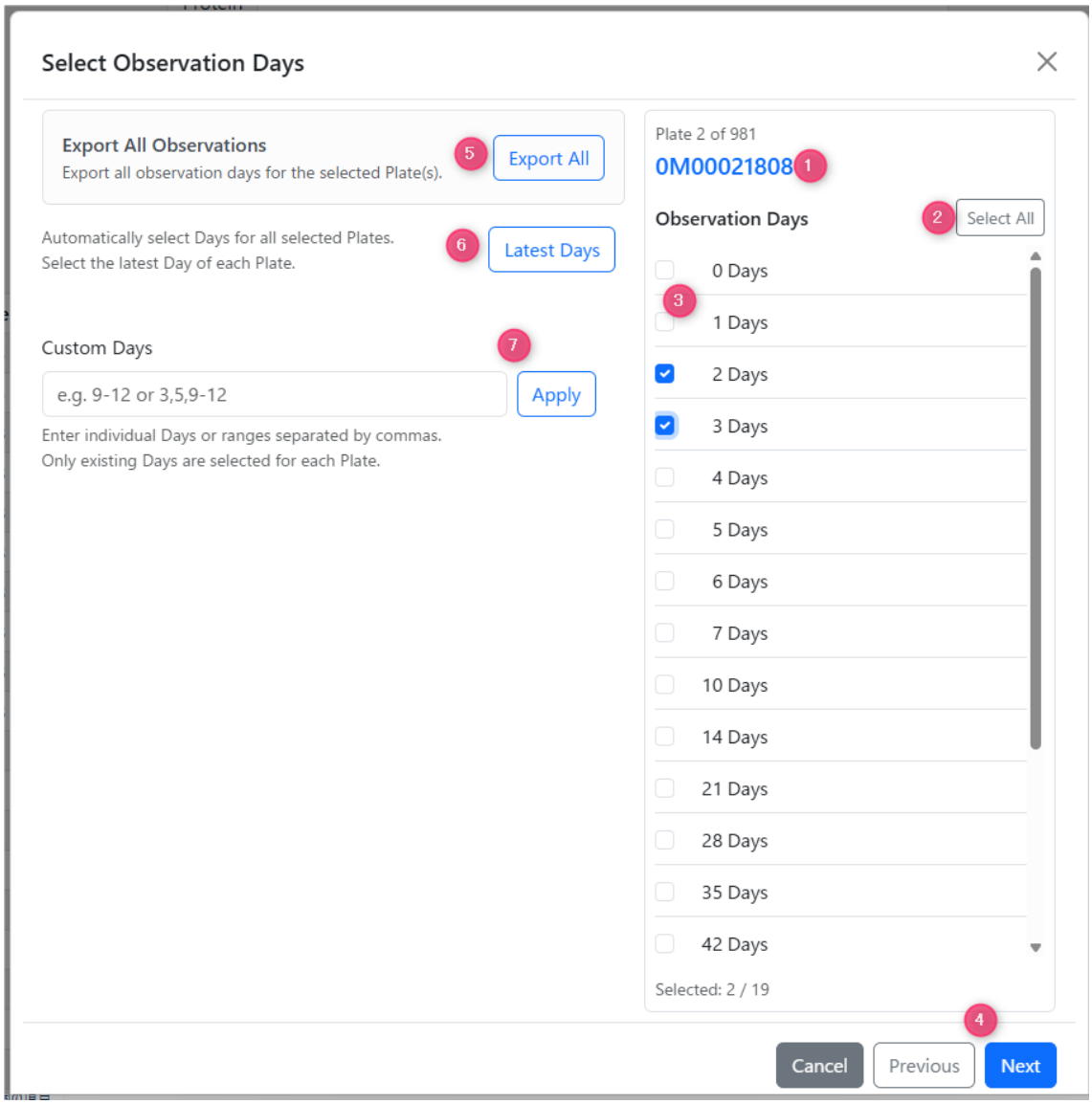
３－３．プレートの一括指定

② の Select all を押すと、表示されている画面だけでなく、現在の検索結果に含まれるすべてのプレートが指定される。初期表示では、そのユーザーが所有するすべてのプレートが選択対象となる。Search によって検索結果を絞り込んでいる場合には、絞り込み後の検索結果に含まれるすべてのプレートが選択対象となる。現時点では、指定可能なプレート数に明示的な上限は設けていないが、一度に出力するプレート数として1,000枚を上限目安とする。



・プレート一覧画面の ③ には選択されたプレート数が表示。
・④ の×を押すと、全てのプレート選択状態が解除され ③ selected はゼロになる。
・プレートを選択後、⑤ の「Export Images」ボタンを押すと、選択したプレートの観察日選択ダイアログが開かれる。

３－４．出力する画像ファイルの観察日の指定



観察日選択ダイアログ画像

① 選択プレートの確認
プレートの詳細を確認したい場合は、このリンクから別タブで開くことができる。

② Select all
現在表示中の対象プレートについて、すべての観察日の画像ファイルの出力を指定する。
指定するプレート数が多い場合、数十秒から数分かかる場合がある。

③ 観察日の個別選択

画像ファイルを出力する観察日を個別選択する場合にチェックする。

④ 前後のプレートへの移動

Previous／Next ボタンで、前後のプレートに移動する。最後のプレートまで進むと、Next ボタンが OK ボタンに変わる。

OK を押すと、「画像数とサイズ計算ダイアログ」が開く（後述）。

⑤ Export All

すべての選択プレートについて、すべての観察日の画像ファイルの出力を指定する。

これを押すと「画像数とサイズ計算ダイアログ」が開く（後述）。

⑥ Latest Days

各プレートの最新の観察日の画像ファイルの出力を指定する。

これを押すと「画像数とサイズ計算ダイアログ」が開く（後述）。

⑦ 観察日の指定

各プレートについて、指定した観察日の画像ファイル出力を指定する。

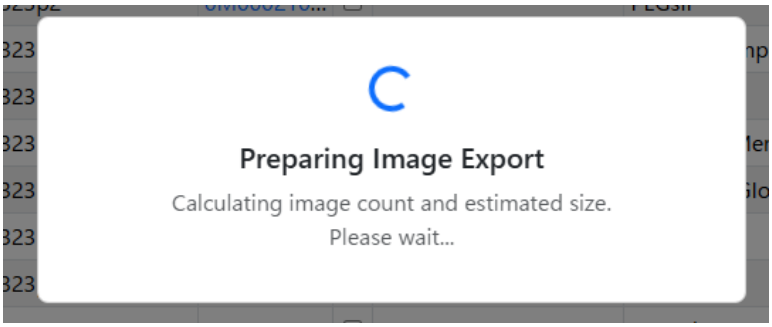
これを押すと「画像数とサイズ計算ダイアログ」が開く（後述）。

複数の観察日を指定する場合は、画像のようにカンマで区切って入力する。指定した観察日が存在しない場合、その日は無視される。

例：3,5,9-12 と指定すると、3 days、5 days、および 9〜12 daysが選択される。

３－５．画像ファイル出力の実行と保存先

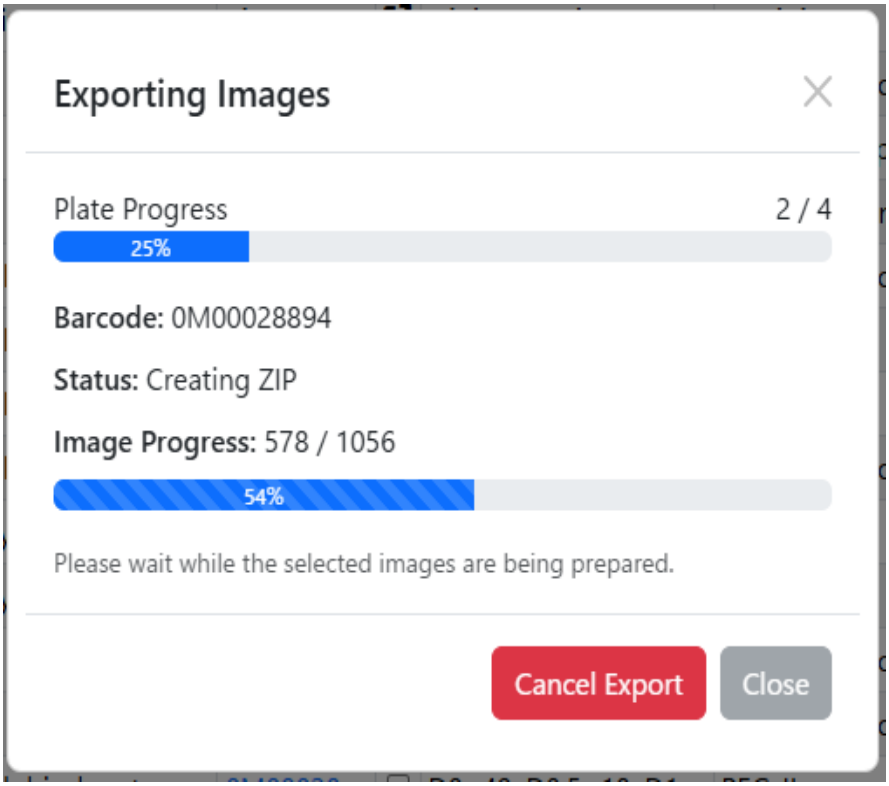
出力する画像ファイルの指定が終われば、次のような計算ダイアログが表示される。出力する画像ファイル数によってこの計算時間は大きく変わるが、例えば 981 プレートで画像ファイル数 200万枚の場合約90秒かかる。



画像数と容量の計算が完了すると、以下のようなブラウザ標準の確認ダイアログが表示される。自分のPCの空き容量を確認したうえで、OKを押すこと。出力容量はプレートごとの観察日数や画像サイズ（Nikon, Formulatrix）によって前後する。下図の例で、981 プレートの全観察画像（200万画像）では約 530 GBになる。



上記の画像数および推定容量を表示する確認ダイアログで「OK」を押すと画像エクスポート処理が開始され、ダウンロード進捗状況ダイアログに移行する。下の画像は上記の続きではなく、選択プレート数が４枚の場合である。200万画像（約 530 GB）の出力の場合、約２時間を要する。



進捗状況ダイアログ

Plate Progress

選択したPlate全体の処理状況を示す。2 /4 の場合、４枚のプレートのうち、２枚目を処理中であることを示す。右側の数値（この例では４）は、今回処理するプレートの総数を示す。

Image Progress

プレート毎の「処理済み画像数 / 総画像数」を表示する。この例では、1056 枚中 578 枚の画像処理が完了している。

Cancel Export

画像出力処理をキャンセルする場合に使用する。キャンセル要求後、現在処理中のプレートが完了後、以降のプレートの処理をキャンセルする。すでにダウンロードを開始しているプレートについては、キャンセル後もダウンロードが継続される。